

ロジメーター ヒアリング

2024年6月27日

11:00~12:00

(株)JOIX 物流戦略室 周藤



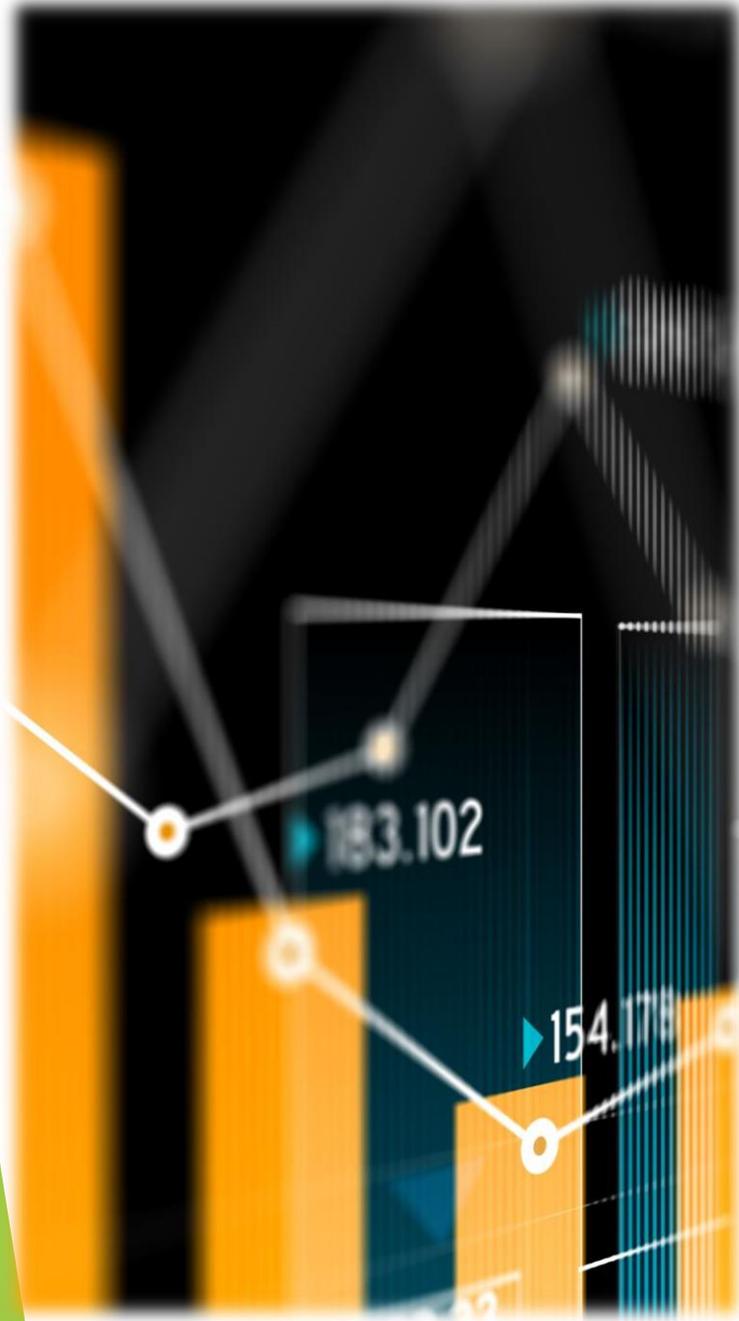
ロジメーター導入前の課題

- ▶ アパレル業界は他業種と比較して生産性が低い
という問題点 → 「現状認識」が甘い！と記載

- ▶ 「物流部」における「現状認識」は？
- ▶ 「現状認識」の重要性を理解したい
- ▶ 「現状認識」により「次の一手」を可能にしたい
- ▶ PDCAサイクルによる業務改善のベースライン向上に繋がりたい
- ▶ リアルタイムでの進捗状況把握は？
- ▶ 「データ」を読み取り、「振り返り」・「次月・来期の予見」に繋がりたい
- ▶ あいまいな経験値と手集計での業務遂行からの脱却
- ▶ チームの隅々まで全員が導入効果を理解すること

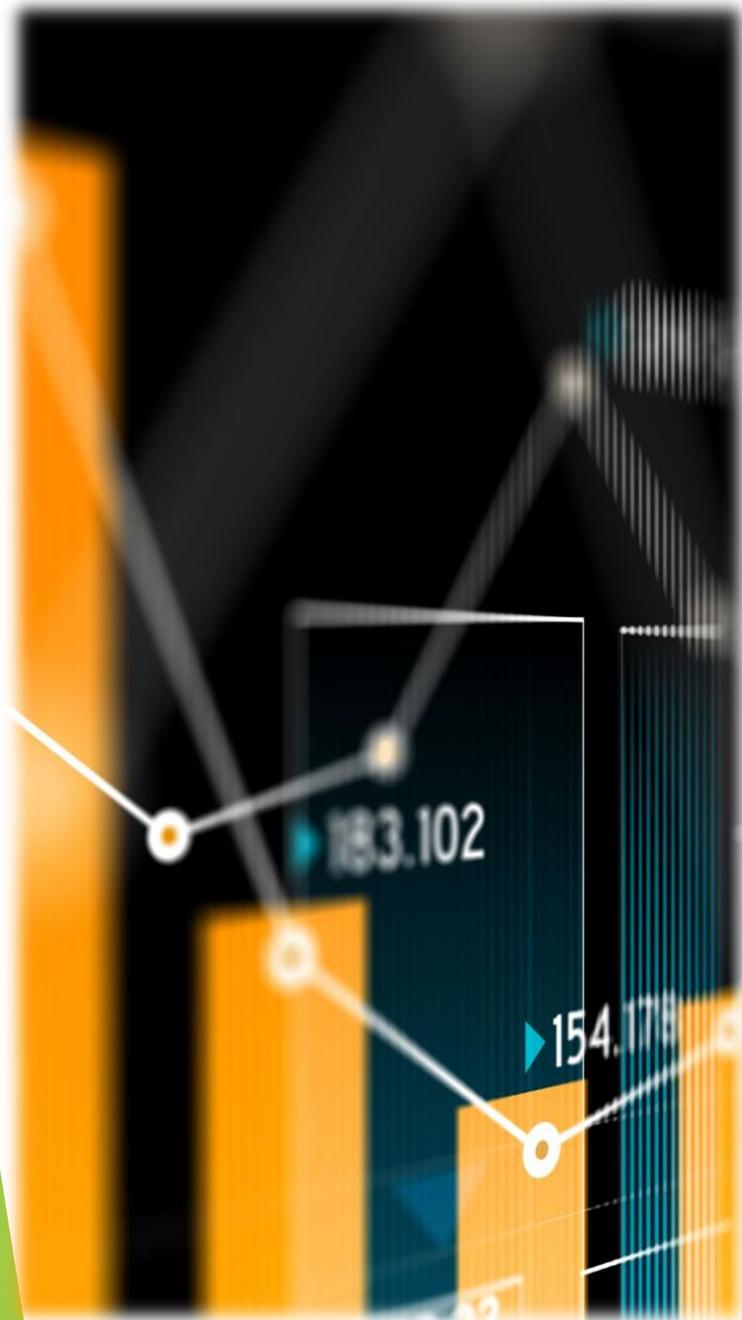
(ゴール)

- ▶ 正確に数値化し、その裏付けられた「データ」を使用し、
傾向値・イレギュラー値を「把握・区別」して、業務遂行を
「数字」で語れるチームへ発展させる

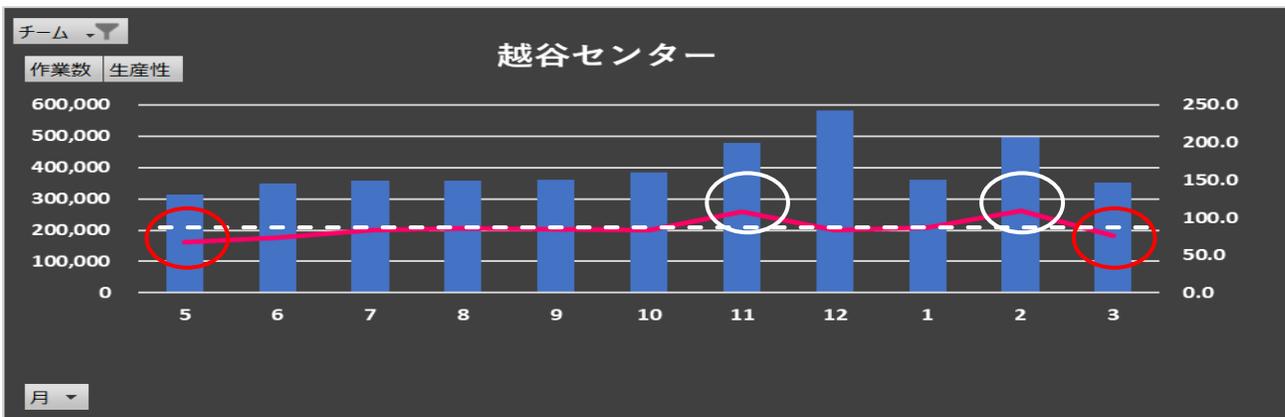


ロジメーター導入効果

- ▶ **時間を正確に集計することを可能にした点**
- ▶ **各チーム生産性において日別・月間推移をデータ化し**
「現状認識」し、生産性向上に繋げ、業務改善に有効活用
(例) 作業順変更・優先順位の確立・レイアウト変更など
越谷センター : 4チーム (入荷・保管・出荷・WEB)
加古川センター : 3チーム (入荷・保管・出荷)
- ▶ **「データ化」により傾向値・イレギュラー値を区別して認識**
通常出荷・アウトレット出荷・催事出荷返品・期末返品など
繁忙期の数値化での区別も可能になり、チーム毎の傾向を読み取れる
月別の傾向がわかり、急なイレギュラー作業が加わっても
予見し、準備を怠らず、対策を講じることを可能とした点
- ▶ **応受援時間・チーム別難易度による適正な人員配備に繋がった点**
- ▶ チーム別作業難易度を算出し、チーム毎の作業負荷による
チーム格差を考慮した人員配分により効果を引き出す
- ▶ 応受援時間から各チーム不足時間を割出し、偏重の有無を抽出
チーム別人員配分の良し悪しを判断 (バランス面重視)
- ▶ 日々の応受援作業予定表作成による効果 (スムーズな作業進捗向上)
繁忙に応じた作業別個人生産性に裏付けられたデータを駆使し、
設定した作業完了時間への最適な人員配備による効果を最大限に引き出す
- ▶ **管理職・リーダー・正社員の意識が高まり、本来の役割・使命を
果たす意義を見出し、その醸成に繋がっている点が重要で大きい**



例：越谷センター（2023年度）



▶ 生産性（通期）

- ▶ センター：85 難易度
- ▶ 1課 入荷チーム：111 0.8 作業負荷：1課中最大
- ▶ 保管チーム：154 0.6 作業負荷：低
- ▶ 出荷チーム：121 0.7
- ▶ 3課 WEBチーム：37 2.3 作業負荷：センター最大

▶ 3課WEBチームに関しては作業負荷がセンター内で最も高いが、年間を通して作業数の大きさに左右されることなく、安定した生産性を保ち運営力が高い！

▶ 1課は催事・期末返品などの負荷の高いイレギュラー作業が少ない為、安定しておりWEBチームへのサポートが重要ポイントとなる

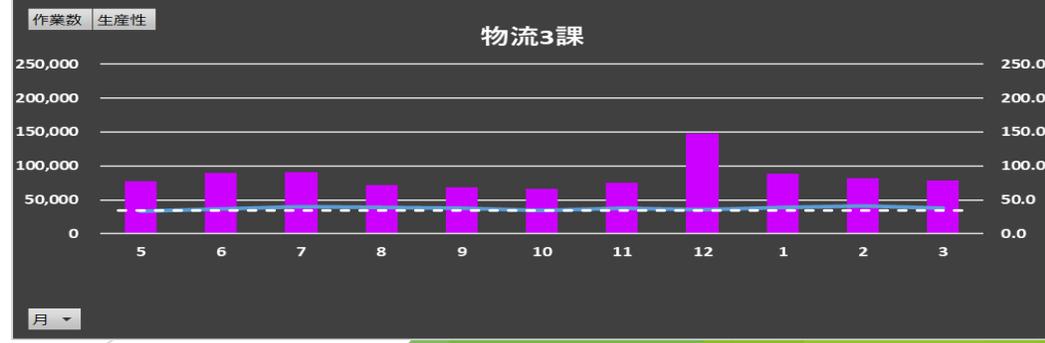
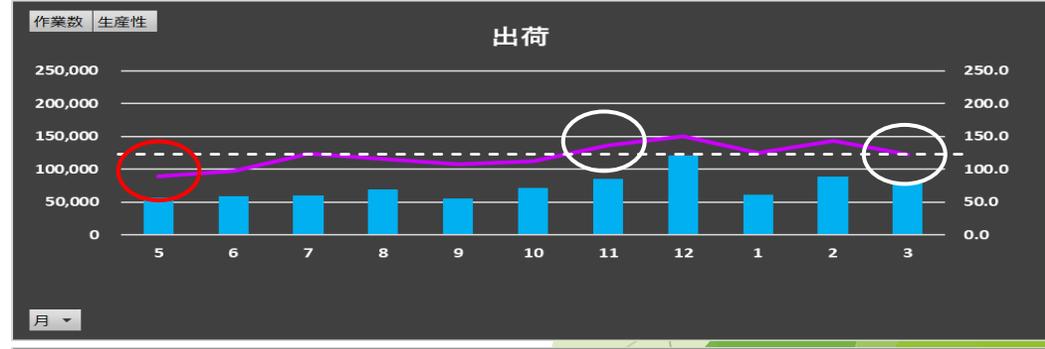
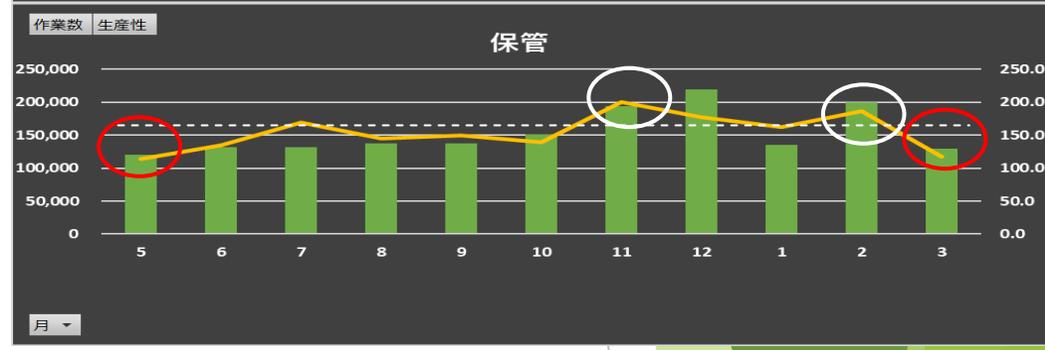
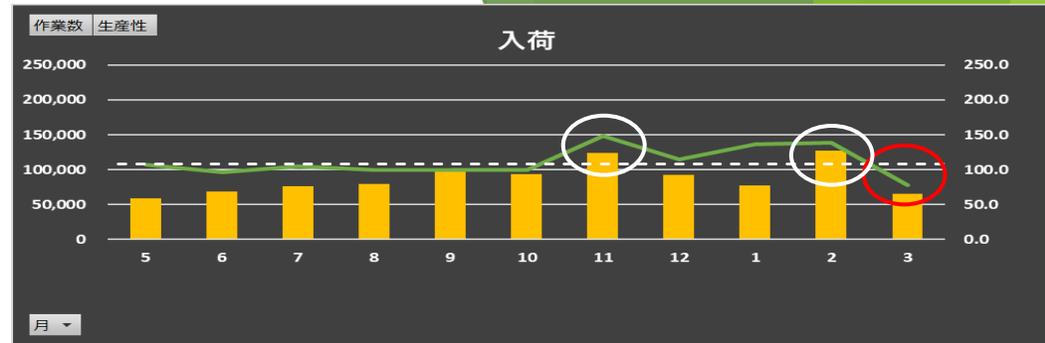
▶ 【センター生産性が平均値より低い月】

5月：要因は保管・出荷チーム生産性の影響

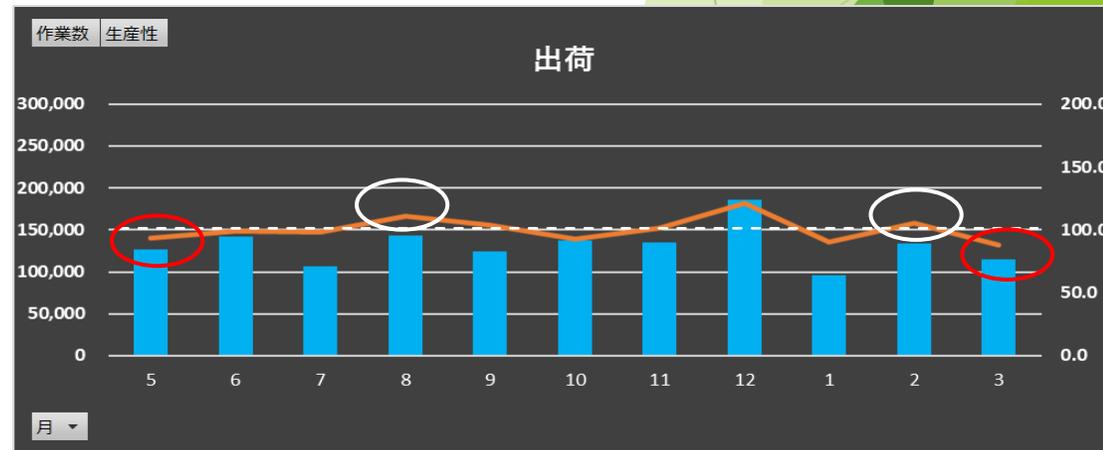
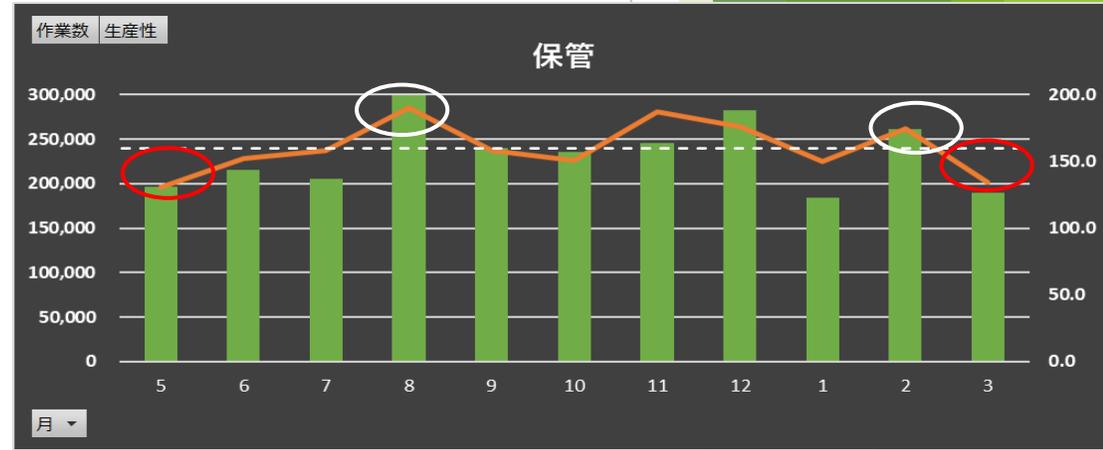
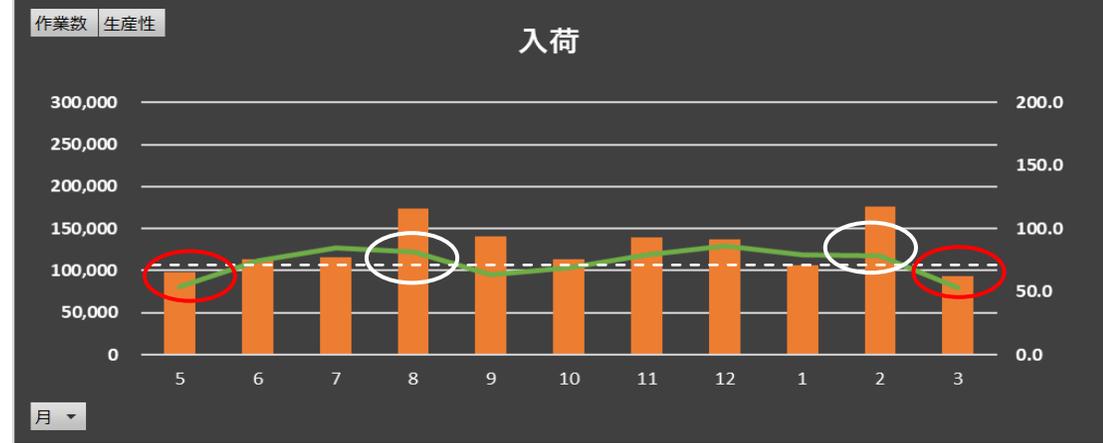
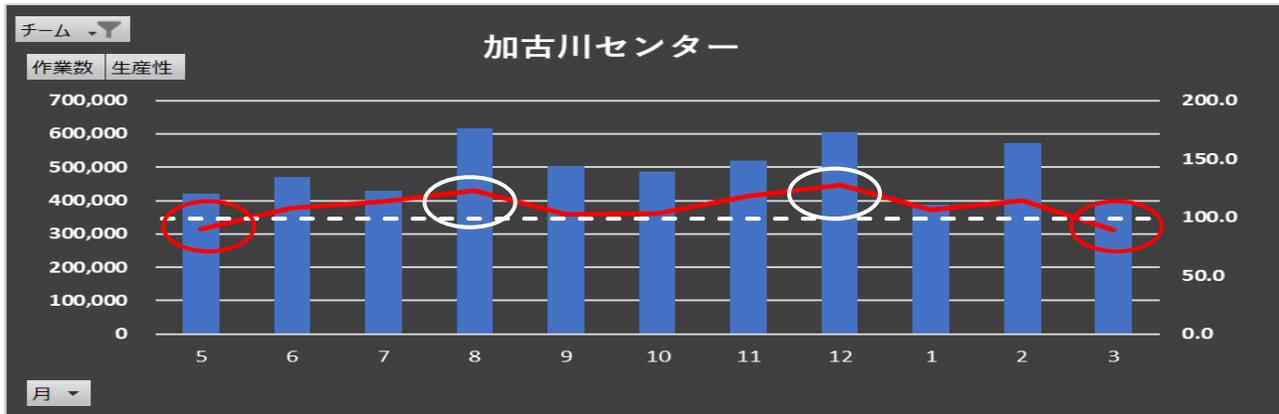
3月：要因は入荷・保管チーム生産性の影響

▶ 【センター生産性が平均値より高い月】

11・2月：要因はWEBチームが維持し、1課の全てのチーム生産性好調の影響



例：加古川センター（2023年度）



- ▶ 生産性（通期）
- ▶ センター：109 難易度
- ▶ 2課 入荷チーム：73 1.5 作業負荷：大
- ▶ 保管チーム：161 0.7 作業負荷：低
- ▶ 出荷チーム：101 1.1 作業負荷：上昇傾向
- ▶ 【センター生産性が平均値より低い月】
 - 5月：要因は入荷・保管チーム生産性の影響
 - 3月：要因は全チーム生産性の影響
 - 5月・3月は催事増加の影響が大きく生産性において
平均値未達となるが要因が明確な為、**イレギュラー月と認識**
- ▶ 【センター生産性が平均値より高い月】
 - 8・12・2月：要因は全てのチーム生産性の影響
 - 特に8・2月は新物入荷・期末返品が多い中、各チーム連携が良く、
センター運営良好となる ※2月は事前イレギュラー格納対策が好調要因
- ▶ 生産性の高低が月別で明確・要因も明確な為、区別して考察することが重要
- ▶ イレギュラー作業が入ると生産性への下押し圧力となるので予見が重要

【加古川リーダー会（月初MTG）】①作業難易度状況報告（2023年度）

▶ 【振返り】

- ▶ 2023年度は全てのチームで作業数増加となり、限られた人員の有効活用が求められた
- ▶ 入荷チーム：難易度が高く作業負荷の高いチームだが、中でも5・8・11・3月は
催事増加により、前年より難易度が上昇。更なるサポートが必要となった
- ▶ 保管チーム：作業数増加の中で、時間を削減し、難易度を低下させ効率よく運営
また、自チーム作業を効率よく熟した上で、他チームをサポート！
- ▶ 出荷チーム：5・11月に大きな催事が重なり難易度上昇
2023年から負荷の高い追加作業により、作業負荷が上昇し、他からのサポートが必要となる

▶ 【対策】

- ▶ 各チームにおいて、前年推移を振り返り、本年予定・イレギュラー業務を加味した上で、
当月の負荷の高いチームを予見し、サポート態勢を共有する

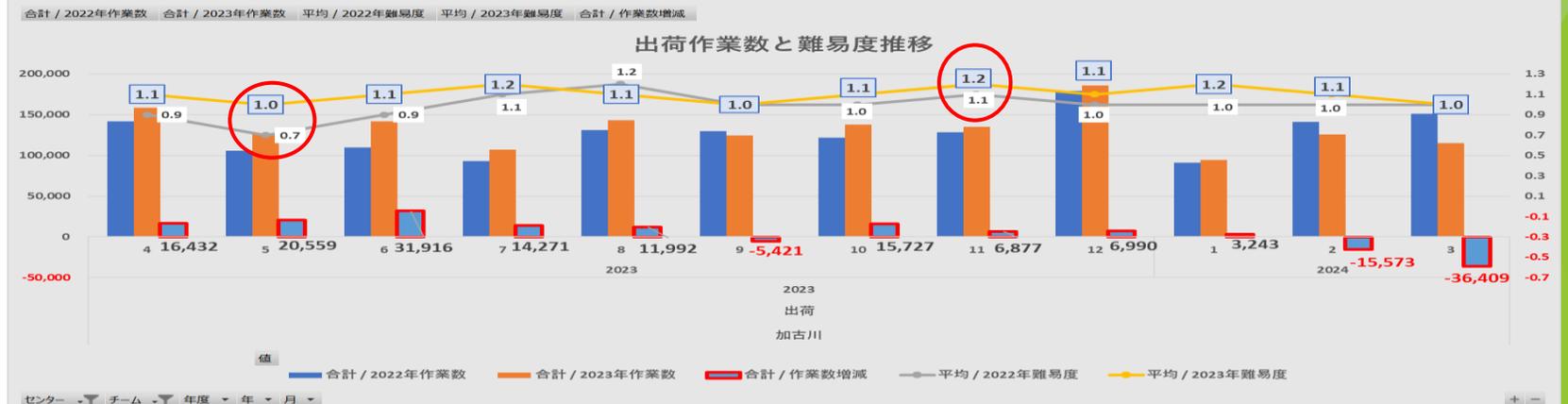
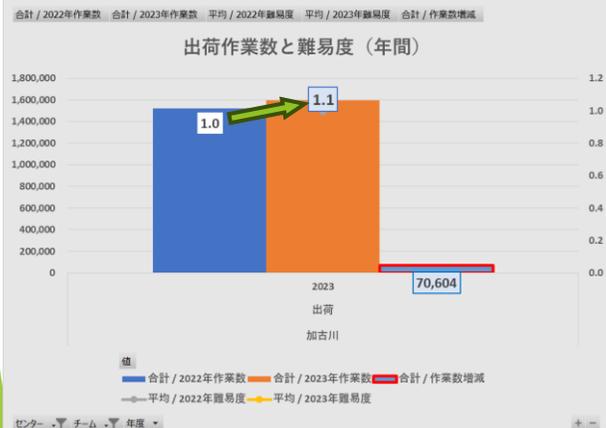
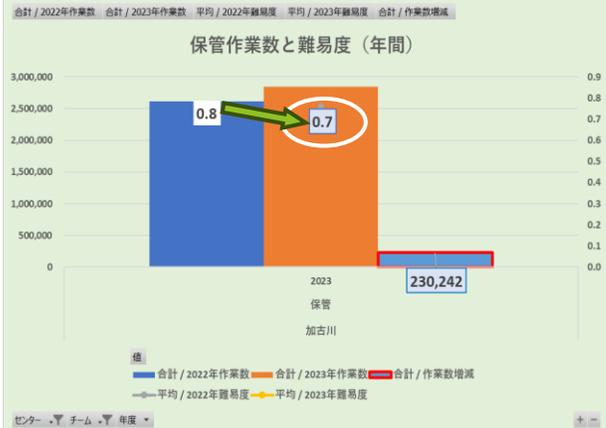
▶ 【結果】

- ▶ 加古川センターにおいては、全てのブランドを取り扱い、期末返品・催事などの
負荷の高い業務を受け持つセンターと位置づけられる為、適切な人員配備が【カギ】となる！
- ▶ **ロジメーターは、生産性から算出された【難易度】を使って、センター内でのチーム作業負荷の
上昇・低下傾向を読み取り、【予見】・【共有】し、
チームの枠を越えた人員配備に活性化する有効なツールと考えている！**



「加古川センターのロジメーター使用目的」：限られた人員・時間の有効活用に活かす！

加古川作業難易度（2023年度）



【加古川リーダー会（月初MTG）】②応受援状況報告（2023年）

▶ 【振返り】

- ▶ 2022年度は、出荷チームが保管チームを、大きくサポートすることでセンターを運営

出荷チーム応援時間96hで、保管5h・入荷91hの受援時間をフォローし、問題点としては、出荷チームに依存したカタチとなり、偏りが大きい ※難易度の低い保管へのフォローが大きく、保管は筋肉質への転換が必要
加えて偏重是正の人員再配分による修正が必要と考える

（人数配分） 入荷：保管：出荷 2022年度 16：16：13 45名

2023年度 17：16：14 47名 2名増員 難易度の高い入荷・出荷に1名ずつ増員

▶ 【対策】

- ▶ チームによる偏りを是正し、バランスの良い応受援の形式をつくる！

▶ 【結果】

- ▶ 各チームが以前にも増して活発な応受援に取組み、他をサポート

- ▶ 2023年度は、出荷チームが入荷チームをサポートすることでセンターを運営

出荷チーム応援時間40h・保管チーム応援時間6hで、入荷チーム46hの受援時間をフォロー

出荷チームの応援時間によるサポート態勢には変わりはないが、その時間は縮小となる

2022年度とは明らかに違い、出荷チームに依存したスタイルから脱却し、

応受援過不足時間での偏りがなく、バランスが良好となり、目指したカタチとなる

- ▶ 難易度による作業負荷の高低によるチーム作業負荷格差をリーダーが理解し、その対策として活性された応受援でフォローした結果、目指したカタチとなる

- ▶ 2024年への取組：部分的なチーム固定化人員の修正へ！（マルチチーム設置）

加古川応受援時間と推移



▶ 2022年度

8月返品減少→予見：9月返品増加→サポート強化

2月返品対策→予見：入荷チームへのサポート強化

結果：出荷チームのフォローで難関突破！

異常値 6・12月セール→出荷チームをフォロー

異常値 9・2月は入荷チームをフォロー

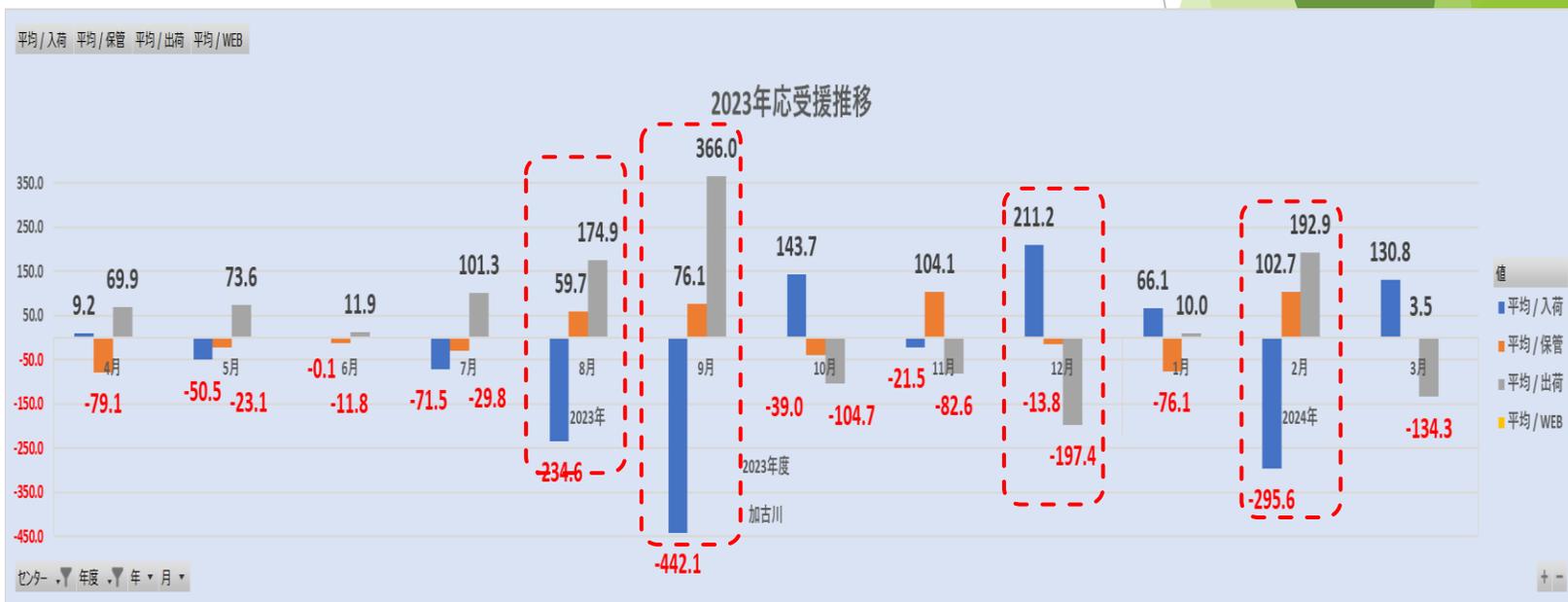
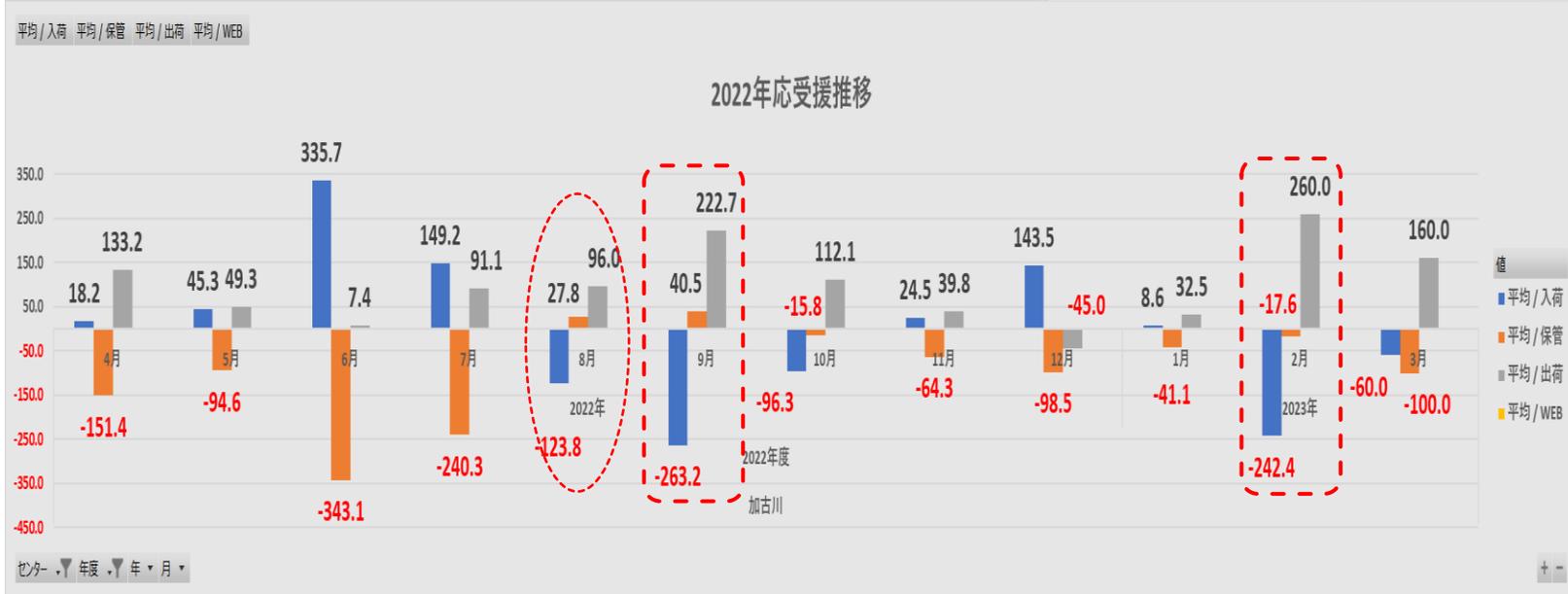
▶ 2023年度

異常値 12月セール→出荷チームをフォロー

異常値 8・9・2月は返品で入荷チームをフォロー

結果：応受援時間上下幅の縮小が見られバランス良好！

異常値に合わせた人員配備でなく応受援を活性化
することで難局を乗り切る（異常値として認識）



作業予定表

6月11日 新・作業予定表

		数量	午前処理	達成率	12時残	TTT	午後処理	達成率	16時残	終了時刻
入荷H	本日	187	304	100.0%	0		395	100.0%	0	11:13
	後日	187								
入荷F	本日	245	551	100.0%	0		2723	100.0%	0	10:53
	後日	245								
ピッキングH	通常	1121	749	62.9%	441		759	100.0%	0	14:33
	ZOZO	2								
	アウトレット	37								
	後日	30								
ピッキングF	通常	7353	7965	99.3%	59		7277	100.0%	0	13:01
	ZOZO	121								
	アウトレット	433								
	後日	117								
梱包(通常)	通常	8474	5385	59.3%	3692		7420	100.0%	0	14:19
	アウトレット	470								
	後日	133								
梱包(ZOZO)	本日	123	153	100.0%	0		198	100.0%	0	11:47
	後日	14								

午 前											
入荷H			ピッキングH				梱包(ZOZO)				
小牧	長永	俊成	松原	岡本	応援3	河上					
中谷	片岡										
入荷F			ピッキングF				梱包(通常)				
浅田			山路	坂東		垺和	根尾	今給黎	植原	早野	
小島			藤原	中原	田中	神吉	田先	森江	沖	廣瀬	
			中岡	金田	高尾	広岡	松岡	福永	中多	久次	
			藤本	三輪	栗林	平井	道脇				
			川島	弓削	富田	柴田					
			伊川	川崎		大畑					
返品H						値付けH					
返品F						値付けF					

▶ 【作業予定表】

チームメンバーをカラーで区分 入荷チーム：オレンジ/保管チーム：緑/出荷チーム：青

プライオリティの高い出荷作業を優先、16時完了を目指し、主要作業項目別（入荷・ピッキング・梱包・値付け）に作業数を入力

応援が必要な作業エリア内に（所属チームカラー別）「個人生産性プレート」を設置（朝・昼）

午前処理数・達成度・12時残数・午後追加数が表示され午前での進捗度・午後の対策を講じた上で、16時出荷作業フロー完了予定を計画

繁忙に応じた作業別個人生産性に裏付けられたデータを駆使し、設定した作業完了時間への最適な人員配備による効果を最大限に引き出す！

▶ フォロー作業（返品処理・新物・返品入れ込み・商品整理・後日作業仕掛）への人員再配備でセンター作業循環を良好にする！

ロジスコープ導入・活用について

▶ 【ロジスコープ】について

▶ (効果) 簡単で分かりやすいグラフ表示・お天気表示で共感・チームワーク向上に繋がる！

▶ 活用方法①：各チームで1週間毎のデータを貼り出してメンバーに経過を共有

※好不調を朝礼・昼礼で報告し今後の改善に繋がられる点

▶ 活用方法②：月末月初での各チームミーティングで使用し「前年比較」「振返り」「次月対策」を共有

▶ 活用方法③：各チームの東西比較

▶ 主要作業に絞り、解りやすいデータで表示しているのでパートさんも理解しやすく、説明もしやすい点で効果が大きく今後に期待

▶ グラフ選択で、作業数・生産性を前年比較するだけでなく、主要作業数と所要時間を表示した点が理解しやすい

※説明せずとも一目みて解りやすいグラフを採用した点と、所要時間削減が生産性向上の大きな要因となる為、そのグラフも採用！

時間を有効的に使う意識向上が醸成していくと期待！

▶ **管理者・リーダー・正社員・嘱託社員・契約社員・パート社員全員が解りやすいデータで業務を共有し**

当事者意識を高め、全員参加型での改善に繋げていくコミュニケーションツールとして重要な役割を果たす！

▶ (改善点)

▶ レポート画面からボタン一つで印刷・エクセルやPDFで取り込み希望

ロジスコープ2024年6月 (月別・日別)

加古川 入荷(月次)

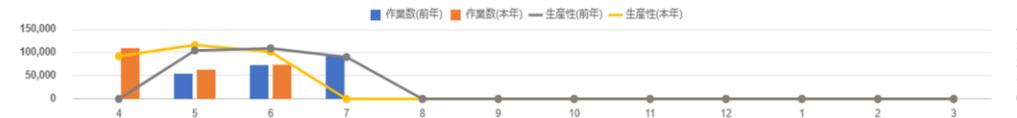
2024/06/30

2024年06月01日(土) ~ 06月30日(日) 月次

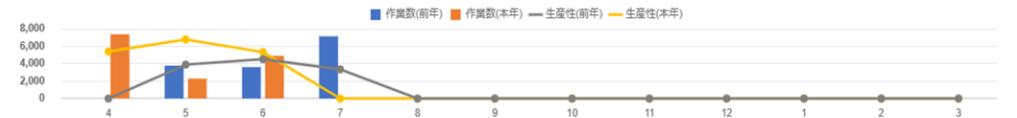
月次



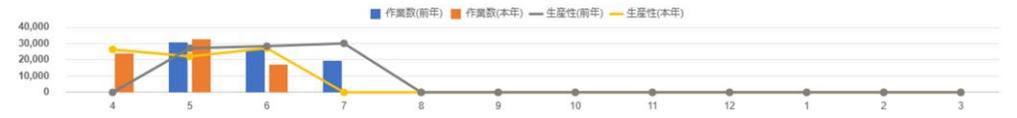
入荷F



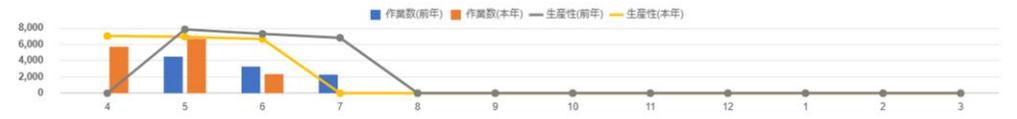
入荷H



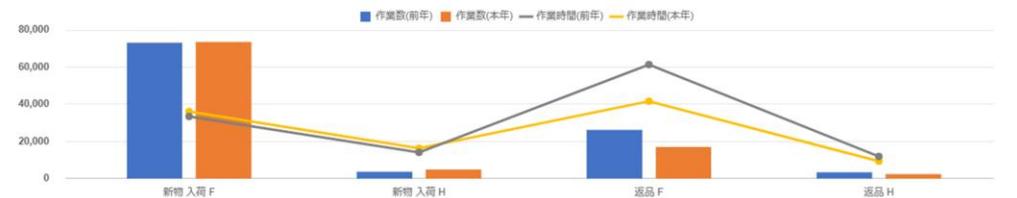
返品F



返品H



作業数と作業時間前年比較(当月)



加古川 入荷(日別)

2024/06/25

2024年06月25日(火) 日次

日次



入荷F



入荷H



返品F



返品H



作業数と作業時間前年比較(当日)

